

【NEWS RELEASE】

2021年9月16日

SMBC日興証券株式会社

国際協力機構(JICA)ジェンダーボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、独立行政法人国際協力機構(理事長:北岡 伸一、本部所在地:東京都千代田区、以下「JICA」)が発行する開発途上国でのジェンダー平等などの推進を目的とするソーシャルボンド^{*1}(第61回国際協力機構債券(10年債)及び第62回国際協力機構債券(20年債)、以下「ジェンダーボンド」と総称)の引受けにおいて、第62回国際協力機構債券の共同主幹事を務めましたのでお知らせいたします。なお、「ジェンダーボンド」の名称で発行される円建て債券は本邦初となります。

JICAは、日本政府の定めた開発協力大綱に則ってODA(政府開発援助)を実施する世界最大の二国間援助実施機関であり、JICA債への投資資金は有償資金協力業務に充当され、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際社会の健全な発展のために活用されます。

JICAは、「ジェンダー平等と女性のエンパワメント推進」を開発途上国の持続的な発展における重要課題と位置づけ、課題の解決に取り組んでいます。多くの開発途上国では、女性に対する差別や社会規範が根強く残り、教育や雇用の機会、経済的資源へのアクセス、政治参加、リーダーシップなどあらゆる面において、能力ではなく性別を理由とした不平等や格差が存在しています。また、新型コロナウイルス感染拡大により、教育や就業機会の逸失、女性の割合が高い医療従事者への労働の偏在、外出制限による家庭内暴力の増加など、開発途上国の女性の人権や公平性は更に損なわれています。

本ジェンダーボンドは、ICMA(国際資本市場協会:International Capital Market Association)が定めるソーシャルボンド原則に則り、開発途上国の女性・女兒(ICMA原則で例示されるターゲット層“Women”)を裨益者とするソーシャルボンドです。本ジェンダーボンドで調達された資金は、有償資金協力事業のうち国際的なジェンダー事業分類基準^{*2}に合致する、①ジェンダー平等・女性のエンパワメントを主目的とする事業(例:女性事業主向けの金融アクセス改善事業、女子教育)、②ジェンダー平等・女性のエンパワメント推進に資するコンポーネントを組み込んでいる事業(例:都市鉄道建設事業における女性専用車両、防犯カメラ、女性用トイレの設置)に充当される予定です(但し、石炭火力発電関連事業を除きます)。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

当社においても、ジェンダー平等と女性のエンパワメントはサステナブルな社会を実現するための重要課題と捉えており、全社的な取り組みを積極的に行っております。特に女性社員の活躍の観点では 70 年以上前から取り組みを推進しており、女性社員がキャリアを積みながら働き続けられる環境を整備してまいりました。今回のジェンダーボンドへの共同主幹事としての関与は、資本市場の仲介者である金融機関として、サステナブルファイナンス市場の発展とともに、資本市場を通じた社会課題解決への取り組みを積極的に支援するものと考えております。また、今回の引受けや当社自身の取り組みを通じて、SDGs の掲げる「ジェンダー平等を実現しよう」に貢献していきます。



- ※1 社会的課題解決に資する事業の資金を調達するために発行する債券。
- ※2 経済開発協力機構(OECD)の開発援助委員会(DAC)が定める分類基準。

【今回当社が共同主幹事を務めたジェンダーボンドの概要】

名称	第 62 回国際協力機構債券(一般担保付)
年限	20 年
利率	0.439%
単価	100 円
発行額	100 億円
条件決定日	2021 年 9 月 16 日(木)
払込日	2021 年 9 月 27 日(月)
償還日	2041 年 9 月 27 日(金)
取得格付	AA+(R&I)、A+(S&P)

以 上